

防災対策委員会 第21回

〈議事録〉

1 会議日時

平成30年4月13日(金) 10:00～11:30

2 会場

久留米市役所本庁舎9階レクチャールーム

3 出席者

堀委員長、田島副委員長、深山委員、高木委員、原委員、長岡委員、古賀委員、江藤委員、渡邊委員、漆原委員、川崎委員、大野委員
事務局：桑野、網中（防災対策課）、植松（地域福祉課）

4 欠席者

稲田委員、森田委員、草場委員

5 議事録

① 開会

事務局より開会を行った。

② 報告事項

- (1) 平成30年度の主なスケジュールについて【資料1】
<事務局より説明を行った>

質疑なし

③ 協議事項

- (1) 平成29年度の取り組み実績について【資料2・資料3】
(2) 平成30年度取り組み方針(案)について【資料2・資料3】
<事務局より説明を行った>

(委員①)

私の校区は自主防災組織を昨年度立ち上げたところで、これから図上訓練や避難訓練を実施していこうと考えている。人の入れ替わりなどの課題もあるが、訓練を初めて行う際に、図上訓練からはじめれば良いのか、避難訓練からはじめれば良いのかを悩んでいる。どちらが良いと思うか皆さんの意見を伺いたい。

(事務局)

土砂災害警戒区域を有する他校区の取り組みだが、実際に動く訓練(避難訓練)をまずはやってみる。その中で課題がでてくると思うので次年度に活かし

てさらに訓練をしていく校区がほとんどである。

(委員①)

私も事務局と同様に考えているが、そもそも校区に自主防災組織があるということを知らない住民がいるので、まずは体を動かす避難訓練を実施してみたいと考えている。

(委員長)

私の校区では防災士が毎月1回、勉強会を開催している。校区の防災士が過去に発生した各地の災害の経験を踏まえて講話をしている。しかし、勉強会の参加者が少ないことから、防災士が各自治会を回り講話をするようにしている。防災士と一緒に継続して啓発に取り組んでいくことが大事だと考えている。

(委員①)

防災士の位置付けについて、私の校区は振興会から依頼して防災士になっていただいているため、防災士に積極的な訓練参加を依頼することが難しい。今後は自治会毎に防災士を養成し、防災士を中心として防災訓練に取り組んでもらいたいと考えている。

(委員②)

私の校区は毎年、自主防災訓練を実施している。その中で、昨年度は自主防災組織の連絡網を作成した。段階的に実施することやイベント等を絡めて実施することが必要だと思う。私の校区も防災士の位置付けをどうするか悩んでいる。防災士をせっかく養成したので防災士を活用していきたいと考えている。

(事務局)

訓練の順番についての質問があったが、地域福祉課が災害時要援護者名簿の更新作業を行っており、梅雨時期前に各校区に新しい名簿を渡す予定である。そのタイミングで新しく委員になっていただいた方に確認していただき、同時に図上訓練を実施していきたいと思う。その後、避難訓練を実施して欲しいと考えている。災害時要援護者名簿の更新作業が防災訓練のきっかけになればと考えている。訓練の際は、防災士の方に防災に対する意識を持っていただき、防災士主導で訓練が実施できるようになればと考えている。

(委員③)

防災士に新規になられた方で、活動したくてもできない防災士がおり、防災士の活動の場を作る必要性は感じていたが、振興会から依頼して防災士になっていただいている方がいるということを知らなかった。自分の費用で防災士になった方もいると思うが、社協からはじまり今は行政が補助を出し、防災士を養成しているため、防災士としての地域で活動する責務はあると感じている。防災士の資格を取得するにあたって、推薦する人員の選考を十分に行うことが必要だと思う。福祉関係に携わっている人を養成してはどうか。

(委員①)

防災士を選考する取り組みを工夫していきたい。

(3) 再認証にむけた本審査について

1. 申請書【資料4】

<事務局より説明を行った>

質疑なし

2. プレゼン資料【資料5】

<事務局より説明を行った>

(委員長)

私の校区では地域にある高層の建物を所有する民間の企業と協定を締結し、水害時には避難所として使用させてもらうようにしている。もし、建物で火災があった場合については、地域住民が協力する体制づくりをしているため、お互いが協力することが大事だと感じる。

(委員①)

防災訓練などへの若者の取り込みについてだが、私も若者の参加が少ないように感じる。何か背景があるのではないか。子育てなどで忙しいのかなどの原因を知りたい。

(事務局)

防災訓練への若者の取り込みについては、他の対策委員会との連携を考えている。例えば、学校安全対策委員会がある。学校と地域とが一緒になって訓練を実施していただくことを考えている。

(委員①)

防災に対する意識が不足していたり、仕事などで忙しかったりするため若者の参加が少ないのではないか。

(委員③)

若者は被災地に対する関心はあると思う。平常時の防災対策に関してはひっ迫性がないため、興味が薄れ、若者の参加が少なくなっていると思う。私もなんとかしないといけないと感じており、若者のマンパワーは必要だと考えている。

(事務局)

若者の取り込むための取り組みとして、他校区の紹介になるが避難所運営ゲーム(HUG)をPTAの保護者に対して先日実施したが、非常に好評だった。訓練に参加するだけでなく、自分が体験するような取り組みが大事だと思った。

(委員①)

ゲーム感覚で実施できると面白いが、そのような図上訓練はあるのか。

(委員長)

青木校区は子ども達を対象に防災運動会を開催している。イベント性があり

好評だった。まずは、やってみることが必要だと思う。

3. 現地審査スケジュール・活動視察【資料なし】

<事務局より説明を行った>

質疑なし

④ その他

(事務局)

先ほど審議いただいた再認証取得に向けた「申請書」及び「プレゼン資料」は、修正やセーフコミュニティの取り組み全般に関することを含め、意見があれば事務局まで連絡をいただきたい。

⑤ 閉会

<事務局より閉会をおこなった。>